



貼りだし
令和5年5月9日
復興庁

「東北復興ツーリズム推進ネットワーク」（仮称）について

復興庁は、東日本旅客鉄道株式会社が事務局となって令和5年7月25日に設立される「東北復興ツーリズム推進ネットワーク」（仮称）に参画する予定です。

このネットワークには、復興庁のほか、被災自治体、観光や伝承の関連団体、旅行会社、航空会社等も参画する予定となっており、関係者間で旅行商品の造成や教育旅行の誘致等に資する情報共有などを進めていきたいと考えております。

また、このネットワークを通じて、先般発行した「るるぶ特別編集『東日本大震災伝承施設ガイド』」をJR東日本管内24か所の「駅たびコンシェルジュ」に設置したり、新幹線車内の冊子「トランヴェール」7月号でご紹介いただくなど、被災地の伝承施設の更なる情報発信に努めてまいります。

こうした関係者間の連携した取組によって、より多くの方々に東北を訪れていただき、震災の風化防止と教訓の継承、防災・減災意識の向上を図るとともに、被災地の活性化につながることを期待しています。

ネットワークの詳細については、添付「JR東日本ニュース」をご覧ください。

【問い合わせ先】

復興庁 復興知見班 武市・早川

電話：03-6328-0223

Email : g.fukkochiken.f3z@cas.go.jp

2023年5月9日

東日本旅客鉄道株式会社

東北における復興ツーリズムの推進について

- JR 東日本は、東日本大震災から12年を経て、東北各地で震災伝承施設などの整備が進んだことを契機に、地域の皆さんと連携して東北における復興ツーリズムを推進していきます。
- 震災の記憶を風化させないように、東日本大震災の教訓や災害への備えを学び、後世に伝えていくことが大切です。防災・減災学習が可能な震災伝承施設とともに、日本の原風景が残る多様な東北の魅力を訴求していくことで、交流人口の拡大を通じた被災地域の復興加速や地域の活性化につなげていきます。
- 具体的には、「東北復興ツーリズム推進ネットワーク（仮称）」を発足させ、自治体や企業、各種団体に参画いただき、東北を周遊するモデルコースを磨き上げ、地域と旅行会社のマッチングによる旅行商品造成の促進や教育旅行の誘致活動などを展開していきます。

1 復興ツーリズム推進の目的

- (1) 震災伝承施設を実際に訪問することで学べる防災・減災プログラムは、東北独自のものであり、教育旅行や新入社員研修などの企業研修向けにこれを広く周知するとともに、東北への誘致を推進していきます。
- (2) 防災・減災学習に加え、広大な自然や独特的な文化・おいしい食なども満喫できる東北を、特に若年層へ訴求することで、繰り返し訪問するきっかけをつくり、交流人口の創出につなげます。



《 目指す姿 》 教育旅行の訪問先として選択される東北／繰り返し訪問される東北

2 「東北復興ツーリズム推進ネットワーク（仮称）」の設立について

(1) 概要

地域の皆さんと連携して事業を推進していくために、「東北復興ツーリズム推進ネットワーク（仮称）」（以下「本ネットワーク」）を設立します。本ネットワークには、国や自治体をはじめ、さまざまな企業や団体などが参画予定です。

(2) 設立日

2023年7月25日（火）

(3) 参画予定団体

東北復興ツーリズム推進ネットワーク (仮称)	団体名	
	国	復興庁、東北運輸局、東北地方整備局
	自治体	青森県、岩手県、宮城県、福島県、関係市町村
	団体	一般社団法人 東北観光推進機構、 一般財団法人 3・11 伝承ロード推進機構、 震災伝承ネットワーク協議会※
	旅行会社	株式会社 JTB、株式会社日本旅行、 近畿日本ツーリスト株式会社、クラブツーリズム株式会社、 東武トップツアーズ株式会社、株式会社阪急交通社、 株式会社読売旅行、T-LIFE ホールディングス株式会社、 株式会社 JR 東日本びゅうツーリズム & セールス
	航空会社	日本航空株式会社、全日本空輸株式会社
	東日本旅客鉄道株式会社（事務局）	

※震災伝承を効果的・効率的に行うためのネットワーク化に向けた連携を図ることを目的に設立した協議会
(東北地方整備局・青森県・岩手県・宮城県・福島県・仙台市・復興庁)

3 実施事業の一例

(1) モデルコースの整備

震災伝承施設の見学や語り部の講話を通じて学ぶ防災・減災プログラムに加え、自然・歴史・文化・食に関する東北のさまざまな観光コンテンツや、地域の体験プログラムを組み合わせた周遊ルートに、旅行会社の知見を加えてモデルコースとして磨き上げ、旅行商品造成や教育旅行の誘致に活用していきます。

【モデルコースの一例】

① 震災伝承と豊かな海の恵みを体験する旅

日	行程	宿泊
1	東京駅 ──► 仙台駅 東北新幹線 ----- 日本三景松島観光 遊覧船、瑞巖寺	気仙沼または南三陸
2	震災伝承施設見学 氣仙沼市東日本大震災遺構・伝承館 いわてTSUNAMIメモリアル 南三陸311メモリアル 平泉周辺  	漁業体験 氣仙沼・南三陸での漁業体験
3	世界遺産：平泉・一関観光 中尊寺金色堂、毛越寺、猊鼻渓 東京駅 東北新幹線	一ノ関駅 ──► 東京駅 東北新幹線

② 震災伝承施設と三陸海岸をめぐる旅

日	行程	宿泊
1	東京駅 ■■■ 盛岡駅 ===== わんこそば体験 ===== 手作り村 東北新幹線	盛岡
2	===== 震災伝承施設見学 ===== 三陸鉄道 たろう観光ホテル 震災学習列車 学ぶ防災ガイド  	田野畠
3	===== 種差海岸・燕島神社 八食センター ===== 八戸駅 ■■■ 東京駅 東北新幹線	

③ 震災と「今」そして未来を知る旅 福島浜通りの震災伝承施設をめぐる

日	行程	宿泊
1	東京駅 ■■■ いわき駅 ===== 国宝宝水阿弥陀堂 ===== 常磐線特急 いわき・ら・ら・ミユウ ===== いわき震災伝承みらい館 語り部ガイド 	いわき湯本温泉
2	===== 東京電力廃炉資料館 ===== 東日本大震災・原子力災害伝承館   道の駅なみえ ===== 震災遺構浪江町立請戸小学校 ===== 涼ヶ岡八幡神社 ===== 相馬復興市民市場 浜の駅松川浦 ===== 相馬駅 ■■■ 東京駅 常磐線特急	

(2) 旅行商品の造成

- ① 旅行会社向けに、震災伝承施設や東北の観光コンテンツの情報をデータベース化して格納する他、旅行会社向け説明会などで旅行商品の造成を働きかけます。
- ② 企業の新入社員研修やワーケーションなどにおいて、震災伝承施設や東北の観光コンテンツ情報を提案し、東北への誘致・手配を行います。
- ③ 大人の休日俱乐部会員向け「みちのく潮風トレイルツアー」を隔月で企画します。

(旅行企画・実施 株式会社 JR 東日本びゅうツーリズム & セールス)

5月号：岩手県・陸前高田市・大船渡市 7月号：宮城県・気仙沼市

9月号：青森県・八戸市

11月号：福島県・相馬市

1月号：宮城県・石巻市

3月号：岩手県・普代村、田野畠村

(3) 教育旅行の誘致

- ① 教育旅行受入に関する各施設の情報を収集し、旅行会社と協力して学校などへの働きかけを行い、東北への誘致を推進します。
- ② 東北観光推進機構と連携して、教育旅行の誘致を行います。

東北観光推進機構が主催する旅行会社との商談会や教職員との相談会に参加します。

【商談会・相談会日程】

7月5日（水）札幌

7月20日（木）東京

8月23日（水）大阪

8月30日（水）名古屋 など



(4) 震災伝承施設や各種コンテンツの情報集約、発信

震災伝承施設や東北の豊富なコンテンツの情報を集約し、交通広告媒体などを活用して広く発信していきます。

- ① 復興庁が発行した「東日本大震災伝承施設ガイド」を、JR 東日本管内 24 力所の駅たびコンシェルジュに設置します。
また、トランヴェール 7 月号でも紹介し、新幹線にご乗車のお客さまにもウェブサイトからご覧いただけるようにします。
- ② JR 東日本のウェブサイト (<https://www.jreast.co.jp/>) に復興ツーリズムに関するポータルサイトを 7 月 25 日に開設します（予定）。
また、JR 東日本びゅうツーリズム & セールスのウェブサイト「日本の旅、鉄道の旅」(<https://www.jrview-travel.com/reserve/topList>)において、復興ツーリズムの特集ページを開設します。



(5) インバウンドの誘致

東北観光推進機構や旅行会社、航空会社と連携し、インバウンドの誘致に向けて、海外の旅行会社やランドオペレーターへ情報発信を行います。

本件プレスリリースは、ときわクラブ、丸の内記者クラブ、JR 記者クラブ、国土交通記者会、レジャー記者クラブにお届けしています。

あわせて、復興庁にて本件プレスリリースを関係報道機関に配布します。

【報道機関お問合せ先】
東日本旅客鉄道株式会社
コーポレート・コミュニケーション部門 TEL 03-5334-1300